

トラバーリフトの主な故障の原因と処置

故障と原因(手動タイプ)

NO	内容	原因	処置
1	ペダルを踏み込みしても全く上昇しない	作動油不足 ----- 作動油が無いので、動作出来ない。	作動油の補充を行う
		プレッシャーピンの固着(サビ・変形) ----- プレッシャーピンは下降を行う部品です、サビ・変形によりピンの動きが悪くなり、元の状態に戻らず下降状態のままになっている。	プレッシャーピンのオーバーホール又はプレッシャーピン交換
2	ポンプすると上昇するが、上昇量が少ない (ポンプした時に最初抵抗がない)	エアーが混入している ----- エアーにより作動油がしっかりと吸込めない	エアー抜きを行う ----- 下降レバーを握った状態で約5回ペダルを踏み込む ----- 上限到達後さらに約10回ポンピングを行う
		ピストン・ピストンロッド部Oリングの劣化 ----- シール機能低下によりオイルが漏れている ----- プレッシャーピンが押されている ----- コントロールケーブル調整不良 ----- 鋼球のシート不良 ----- シート不良により、リフトシリンダーに送るオイルがオイルタンクの戻ってしまっている。	Oリング交換 ----- コントロールケーブル再調整 ----- プラグを外し、鋼球の清掃又は交換
4	軽負荷は上昇するが、重負荷だと上昇しない	鋼球のシート面不良又は鋼球の破損 ----- シート不良により、リフトシリンダーに送るオイルがオイルタンクの戻ってしまっている。	再ポンピング、鋼球交換
5	ポンプシリンダーからの油漏れ	ダストシールの外れ ----- ダストシール劣化・パッキン劣化によるオイル漏れ	再組付け、パッキン類交換
		Oリング劣化 ----- シール不良によるオイル漏れ	パッキン類交換
	トップナットからのオイル漏れ	ダストシールの不良 ----- ダストシール劣化・パッキン劣化によるオイル漏れ	パッキン類交換
6	プレッシャーピンからの油漏れ	Oリング劣化 ----- シール不良によるオイル漏れ	パッキン類交換
7	下降レバー操作しても下降しない	プレッシャーピンの固着(サビ・変形) ----- サビ・変形によりプレッシャーピンが押せていない ----- コントロールケーブル調整不良 ----- 調整不良によりプレッシャーピンが押せていない	サビ除去・プレッシャーピン交換 ----- コントロールケーブル再調整
		下降レバーの戻りが悪い ----- 下降レバーのグリス切れ	下降レバーのグリスアップ